

---

# 幼女「おじさま、私をおかいになりませんこと？」

土方 真吾

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

幼女「おじさま、私をおかいになりますん」と?』

### 【Zコード】

Z1249Z

### 【作者名】

土方 真吾

### 【あらすじ】

幼女とおじさんのグダグダな日常生活をほいなにか

幼女「ねえ、おじさま？」

幼女「なんだい？」  
男「なんかい？」

幼女「とりあえず…キスして…」

男「…」ぱふつ

幼女「いやだわ、頭を撫でて欲しいんじゃないの。キスし…痛い痛  
いーっ！」ジタバタ

男「10年早い」ギリギリ…

幼女「めんなさい」めんなさいー（泣）

男「発言には気をつけなさい」ぱつ

幼女「うう、頭が割れちゃうかと思つたわ… キスをねだつただけ  
の、いたいけな幼女に、F V Eばかりのアイアンクローラーなんか決める  
なんて、信じられないわ。鬼畜ね」頭さすさす

男「誰が鬼畜だ。むしろ、その年でF V Eを知つている方が信じら  
れんわ」がしつ ギリギリ…

幼女「痛い痛い（涙）」

幼女「恋の不思議…」&幼女「退屈なの。遊んで下せりなー?」

幼女「恋の不思議…」

男「何がだい?」

幼女「ハゲでテブでオタクでオッサンなおじさまの事が、とても愛しいの…」

男「…」がしつ

幼女「まあ、背後から抱き絞めるなんて… 今日のおじさまは大胆ね。もしかして、私、食べられー ひやうひつ！」ひゅつ ズドン！

男「大人をからかうんじゃありません」ぱつ すたすた

幼女「おじさま、カール・ゴッヂばりの見事なジャー・マンスープレックスは、幼女には危険だと思つの… あいたたた（涙）」

幼女「ねえ、おじさま」

男「なんだい?」

幼女「退屈なの。遊んで下せらなー?」

男「何がしたいんだい？」

幼女「大人のプロレスごっこをしましょう。私、上でも下でも前でも後でもいいわ（一二三四）」

男「じゃあ、後ろから…」がしつ

幼女「まあ、最初から後ろなんて、随分とマニアックなのね。つて、うにゃああああつ」ひゅつ ズドン！

男「いい加減懲りなさい」

幼女「ルー・テーズのようなバックドロップ… 私、逝きそうですわ…」

幼女「そうだ！ それなら……」 & 幼女「おじさま、私をお買いになりません！」

幼女「ねえ、おじぎも」

男「なんだい？」

幼女「抱っこならいいでしょ？」

男 いいよ、お風呂から出たらね

「幼女の柔肌を弄びたくないの？」  
「馬鹿ね、裸の触れ合いがしたいのよ？」  
ソープでぬるぬるの

男「わかつた。こつち来て座りなさい」

とてとてぺたん

幼女「うふふ、やつぱりおじさまも男ね。裸の女の子を田の前にしたら……って、痛い痛いにゃあああー!?」

男「くチマタワシド良ければたつぱり弄んであげよ」じょつじょり

- - - - -

幼女「ねえ、おじやま」

男「なんだい？」

幼女「こんな寒い日ひさま、思いだしますわね？」

男「……やつだね」

ちいせーと雪の降る夜。

幼女「おじさま、私をお買いになつませそ」とへ。」

男「……」

幼女「まるで死んだ魚のような田をなさこますのね？」

男「お嬢ちゃん、お金ならあげるから、早くお家に帰りなさい。親が待っているんだろ?」『ノセ』『モ』

幼女「まあ、財布」とトれるなんて、剛毅ね？ 今夜は特別。上でも下でも前でも後ろでも好きになひつて？」とてとて、『モ』

男「お嬢ちゃん、お家に帰りなさい。凍えてしまつよ……」

幼女「親なんて、居ないわ。待つている人も。馬鹿みたいな施設に売られて、馬鹿みたいな目にあわされてたから、逃げてきたのよ」

男「お嬢ちゃんは、強いな……」

幼女「ねえ、おじさま。お話が長くなるのなら、コートのなかで、抱っこして下さらない？ さすがに寒いし、お腹もすいたの」

男「手袋どけるか、靴下をえないのか…」

幼女「そつよ。わつかうとで、動けなくなる所だったわ」

男「…おいで。」のパートを羽織るんだ」ぐい、ひょい

幼女「きや、乱暴ですね？」でも、」のパートの暖かさと、お姉様抱っこは悪くないですわ」

男「そりや良かった。君を飼う事にするよ。アパートに戻つて、お風呂と食事で暖まひ」

幼女「素敵な提案ですわね。参りまじょうが、淫靡で暖かな楽園へ」

男「…ませたお嬢ちゃんだと（苦笑）」

幼女「ねえ、おじさま」

男「なんだい？」

幼女「抱っこしてくださらない？」

男「おいで（一ノコ）」

幼女「いつも笑つて居ればここのに（ぱつこ）」

男「なんだい？」

幼女「何でもありませんわ」ぎゅーっ

幼女「林檎は人間を堕落させましたのよ」

幼女「ねえ、おじさま？」

男「なんだい？」

幼女「もつと叩いてくださいる？」

男「じうかい？」とんとんとん

幼女「今度はじこをじゅうてくださいな」

男「じうだね」じすじす

幼女「ええ。じゃあ、今度はそこを撫でて？」

男「分かつた……本当にコレで良いのかい？」さすさす

幼女「ええ、十分ですわ。じゃあ、今度は本番。私を気持ち良くな

「

男「いや、その理屈はおかしい。ipod touchの使い方を教えてくれるんじゃなかつたのかい？」

と、じゅかまつたく設定が終わらないんだけど

幼女「いやね、おじさま。これも女も似たようなものですよよ。

指でなでて叩いて擦つてれば、そのうち言ひ事を聞くようになりますわ。

さあ、私のタッチパネルを色々触つてくださいな（はあはあ

禁断の林檎ちえのみで墮落しましょ「ひ~」

男「うん、とりあえず世の中の林檎信者と女性のみなさんご謝りう

か……」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1249z/>

---

幼女「おじさま、私をおかいになりませんこと？」

2011年12月16日22時56分発行